

新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。どなたも、新たなお気持ちで新春をお迎えのことと存じます。

ご承知のように、福智町社会福祉協議会は、旧赤池町・金田町・方城町の社会福祉協議会が合併して、昨年三月一日に船出をいたしました。それから十ヶ月の月日が流れたことになりましたが、まだまだ一体的な業務推進が確立された状況にはなりえておりません。特に、今年度は介護保険制度の見直しや障害者自立支援法の完全実施など、社会福祉を取り巻く環境も大きく変化し、その対応に苦慮しているという実情も影響を与えていると思っています。

そうした中で従来、旧三町の社会福祉協議会が取り組んできた事業も、かなりの部分実施をしてまいりました。さらに、新たな試みとして、福智町社会福祉協議会主催で、戦没者の方々はじめとする物故者の合同慰霊祭を行いました。本来、市町村社会福祉協議会は、社会福祉法第一〇九条で規定された「地域福祉を推進することを目的とする団体」であり、その事業の一つ

に「社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助」が挙げられています。まさに、我々社会福祉協議会関係者が願っている「住民主体の社会福祉協議会」の理念を具体化する目的そのものであり、それだけに、福智町社会福祉協議会の実践がどのようになっているのかが問われることにもなるわけです。

そうした意味で事業や活動方針（計画）を、もう一度検証してみる必要があるのではと思っています。また、社会福祉協議会の使命をどこにおき、その達成のためには、財源をどのように確保するのか、そして「住民主体の原則」とは、財政面でどのようなことが担保されれば、可能なのかということも、真剣に考える時期にきていると思います。

いずれにいたしましても、地域に根付き、地域に愛される社会福祉協議会となりますよう、全職員一丸となつてがんばっていききたいと存じます。町民の皆さまの更なるご理解とご協力をお願いいたしますとともに、ご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

福智町社会福祉協議会

会長 浦田 弘二